

玉村町 文化財通信

2022年12月8日発行

(次号1月発行予定)



玉村町歴史どうぶつ散歩 Vol.7

先月号の塩澤蘭香氏しおざわらんこうによって描かれた動物は、空を舞う鶴と岩の上の亀、そして寿老人を乗せた鹿です。「鶴は千年 亀は万年」と古くから長寿を象徴する生き物と考えられてきました。鶴は長生きであることに加え、その鳴き声が高音でよく響き渡ることから、天にも届く声とされ、天界に通ずる鳥と考えられてきました。また、夫婦仲がよい鳥とも知られ、夫婦円満の象徴とされることもあります。鹿も長寿を象徴する生き物で、寿老人と共に描かれることが多いです。寿老人と共に描かれている鹿は玄(げん)鹿(ろく)と言われ、千五百歳を経た牡鹿で、その肉を食すと二千歳の長寿を得る、と伝えられています。この様に、鶴・亀・鹿は吉祥文とされ多くの作品の素材となっています。

今月紹介するのは、玉村八幡宮(下新田1)の動物です。神社には様々な生き物がいますが、みなさんも一度は奉納したことがある資料に注目してみたいと思います。神の乗り物として動物そのものを献上していましたが、土や木で形作ったものを献上するようになります。平安時代頃には簡素化され、板に描いたものを社寺などに奉納するようになりました。室町時代になると、様々な画題で著名な画家が描いた、大型なものが奉納されるようになり、江戸時代に入ると、庶民が日常生活の中から生じる願いを描いた、小型なものが奉納されるようになりました。ぜひ、どんな動物がモチーフとなっているのか、初詣がてら探しに行ってみてはいかがでしょうか。また、資料館では大型のものを展示しているのでぜひ足を運んでください。



イラスト募集!

今後みなさんのスケッチをもとに、『玉村町歴史どうぶつ散歩マップ』を作成したいと考えています。ぜひご協力ください!

資料館へイラストをお持ちいただいた方には、プレゼントを差し上げます☆彡



文化財を後世に残すということ

昨年度、国登録有形文化財「重田家住宅」を寄附した重田政樹さんこんじゆほうしゅうに対して、このたび紺綬褒章が伝達されました。寄贈というご決断をされた重田さんに、あらためて感謝を申し上げます。おかげさまで、今春以降、いろいろな企画で多くの人と利用させていただきました。私も多くの人と知り合うことができました。

来春から、地域おこし協力隊が加わって、また盛り上げていきたいと思ひます。そして、この文化財を後世に残していきたいと思ひます。勉強会もひらいて、みんなで学ぶ機会をもちたいと思ひます。

重田家住宅

～公開・活用にむけて⑧～

日一日と日中が短く、朝夕の冷え込みが厳しい昨今ですが、いかがお過ごしですか? 重田家では火事の危険性を極力排除する為、火気の取り扱いには十分な配慮をお願いしています。又、古民家の為、日中の換気が必要なので、ご来場の際は暖かい格好でお出かけ下さい。

さて、今月の重田家も3(土)～4(日)に「アート展と光の庭」を実施し、17(土)には「座談会」を予定しています。サブイベント含め楽しい企画が盛り沢山なのでお楽しみに～。

(重田家住宅管理担当者)

公開情報: 平日の水・木・金曜日及び、催事開催日の10時～16時(通常16時迄に退去)

文化財・歴史資料館 情報

国登録有形文化財「重田家住宅」

医食同源 おむすび教室

日時：令和5年1月15日（日） 午前11時～12時

場所：重田家住宅（玉村町小泉42番地）

内容：1月17日の「おむすびの日」にちなんで、医者を持つ重田家住宅で、おむすび教室を開催します。玉村産のお米を味わい、みんなでおむすびを作って心をむすびましょう！玉村町の野菜の紹介や、食後に重田家住宅の見学会を行います。

医食同源…病気を治療するのも食事をするのも、共に生命を養い健康を保つ為には欠くことができないもので、源は同じだという考え。

協力：たまむら食の探検隊

定員：先着15名

持ち物：材料費200円（おつりのないようにお持ちください。）、エプロン、三角巾（バンダナ）、飲み物、タオル

申込方法：12月20日（火）より電話または文化財係窓口にて受付※事前申し込みが必要です。

※駐車場は重田家住宅南側に約20台あります。



○玉村中学校の職場体験報告○

令和4年11月28日（月）～30日（水）の三日間、玉村中学校2年生の生徒2名が文化財係に職場体験に来てくれました。重田家住宅での清掃や除草作業、イベントの準備、歴史浪漫たまむら委員会への出席等々、様々な業務にチャレンジしました。お疲れ様でした！

感想

玉村中学校 2年 松本遙馬君



「とても楽しく三日間を過ごすことができました。小泉重田家住宅の歴史を知ることができてよかったです。三日目は一番大変でしたがやり終わった後の達成感をすごく感じました。職場体験で今後味わえない経験ができてとてもよかったです。」

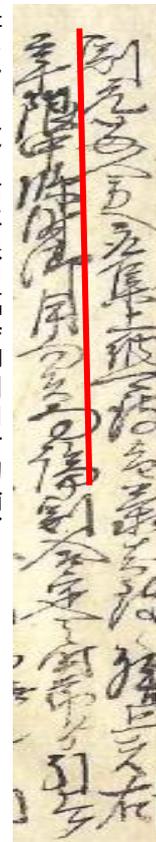
2年 松本悠聖君



「職場体験でとても貴重な経験をさせてもらいました。小泉重田家に行って重田家の歴史を教えてくださいました。二日目は石のコケを取り、草を刈る仕事をし、三日目は車庫の整理をしました。僕も生涯学習課文化財係で働いてみたいです！とても楽しかったです。」

古文書を読んでみよう！

幕末の玉村の中心的人物であった渡邊三右衛門陳好の記録である『三右衛門日記』の中の「安政二年五月十二日地頭御用金上納督促状」を毎回少しずつ読んでいきます。第八回目はこの文章を読んでいきましょう。



書き下し文：右年限中臨時御用向者勿論、

読み方：みぎねんげんちゅうりんじごようむきはもちろん、

現代語訳：右の年単位で定めた期限内、臨時の用事はもちろん、

（次号へ続く）

○玉村町誌別巻④（三右衛門日記一）／別巻⑤（三右衛門

日記五）歴史資料館にて好評発売中！

☆ 発行 ☆

玉村町生涯学習課文化財係・玉村町歴史資料館 （電話）0270-30-6180

☎370-1105 群馬県佐波郡玉村町大字福島 325 番地 玉村町文化センター内

